

東京フィルの

午後の コンサート。

2022

5

〈北欧より〉

第92回 休日の午後のコンサート

2022年 **5月15日** (日)

14:00開演

東京オペラシティ コンサートホール

第13回 渋谷の午後のコンサート

2022年 **5月16日** (月)

14:00開演

Bunkamura オーチャードホール

chie / d.



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
オーケストラの響きが満ちる場所でのかけがえのないひとときを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY

Rakuten 25
YEARS

マルハニ

LOTTE

ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第92回 休日の午後のコンサート

5.15(日) 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
Sun. May 15, 2022, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

25th
Anniversary
Tokyo Opera City
Concert Hall / Recital Hall

第13回 渋谷の午後のコンサート

5.16(月) 14:00開演 Bunkamura オーチャードホール
Mon. May 16, 2022, 14:00 at Bunkamura Orchard Hall

11th Anniversary
2022シーズン
開幕!

〈北欧より〉 - From the Scandinavian Countries -

指揮とお話 栗田博文 Hirofumi Kurita, conductor & speaker
コンサートマスター 近藤薫 Kaoru Kondo, concertmaster

グリーグ：劇付随音楽『ペール・ギュント』より
「朝」「イングリッドの嘆き」「山の魔王の宮殿にて」
「オーゼの死」「アニトラの踊り」「ソルヴェイグの歌」(約25分)
Grieg: Excerpts from "Peer Gynt" (ca. 25 min)

シベリウス：組曲『四つの伝説曲』より
第4曲「レンミンカイネンの帰郷」(約7分)
Sibelius: Lemminkäinen kotiinpaluu from "Lemminkäinen Suite" (ca. 7 min)

— 休憩 intermission —

バーンスタイン：『キャンディード』序曲 (約5分)
Bernstein: Overture to Candide (ca. 5 min)

バーンスタイン：『ウェスト・サイド物語』より
「シンフォニック・ダンス」(約24分)
Bernstein: Symphonic Dances from "West Side Story" (ca. 24 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）| 独立行政法人 日本芸術文化振興会
協力：朝日新聞社、Bunkamura (5/16)
Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra
Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council
In Association with The Asahi Shimbun Company, Bunkamura (May 16)



- ※演奏中や曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。
- ※開演間際の入場、再入場・途中入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。
- ※演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。
- ※終演後、ロビーの混雑を避けるため「時差退場」のお願いをしております。ご協力をお願いいたします。
- Entering and exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
 - If you enter or reenter just before or in the middle of the concert, we may escort you to a seat different from the one you were originally assigned.
 - Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance.
 - In order to avoid crowding when exiting the hall, we ask that you exit the hall by staggered times in cooperation with guidance that staff will provide at the venue at the end of the concert.

出演者プロフィール

5/15

5/16

指揮とお話

栗田博文

Hirofumi Kurita, conductor & speaker



1988年、第23回東京国際音楽コンクール指揮部門において第1位優勝を果たし、翌年、国内主要オーケストラを指揮しデビュー。1989年に渡欧。同年、イタリアにおいて第1回アントニオ・ベドロッチェ国際指揮者コンクールに入賞し国際的な評価を確立。1995年、フィンランド・ヘルシンキにおいて開催された第1回シベリウス国際指揮者コンクールの最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。以後、ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団等に客演し、キャリアを積んでいる。国内外の活発な指揮活動とともに、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にも力を注いでいる。クラシック音楽の古典から現代作品まで、幅広いレパートリーを持つほか、様々なジャンルとのコラボレーションも積極的に行っている。今後の活躍がさらに注目されている指揮者である。

2021年東京フィルの「ハートフルコンサート」に尾高忠明氏の代役として登壇、好評を博す。「午後のコンサート」シリーズには初登場。

公式ウェブサイト <http://hirofumi-kurita.com/>

プログラム・ノート

解説=飯尾洋一

北欧叙事詩からミュージカルまで……物語に由来する音楽

本日のプログラムはどれも物語に由来する曲ばかり。ノルウェーの作曲家グリーグの『ペール・ギュント』は、イプセンの戯曲のための劇音楽として作曲されました。フィンランドの作曲家シベリウスは同国の国民的叙事詩「カレワラ」にもとづいて4つの伝説曲を作曲しています。

20世紀アメリカの作曲家であり大指揮者でもあったレナード・バーンスタインは、ヴォルテールの原作を用いて『キャンディード』を書きあげました。そして『ウェスト・サイド物語』はシェイクスピアの「ロミオとジュリエット」を下敷きにしたミュージカルの大傑作。つい最近、スティーヴン・スピルバーグ監督により映画がリメイクされて話題を呼びました。

愛、冒険、風刺、伝説……。物語は作曲家にどんなインスピレーションをもたらしたのでしょうか。



マエストロ栗田がさまざまな物語にちなむ名曲の数々をお届けします
(写真は2021年8月の「ハートフルコンサート」にて、東京フィル副理事長 黒柳徹子とともに) ©友澤綾乃

型破りな主人公ペールの奇想天外な冒険譚

エドヴァルド・グリーグ (1843-1907) はノルウェーを代表する作曲家。自国の文化や伝統を作品に取り入れた国民楽派の作曲家として知られています。同国の国民的文豪イプセンの同名戯曲のために劇付随音楽『ペール・ギュント』を作曲しました。



「ペール・ギュント」は奇想天外な物語です。舞台は19世紀初めのノルウェーの山岳地帯ではじまり、やがてモロッコの海岸、サハラ砂漠、カイロへと移り、型破りな主人公ペールの生涯が描かれます。

「朝」はモロッコの海岸でペールが日の出を迎える場面の音楽。フルートの冴え冴えとした音色が印象的です。物語の後半に登場する音楽で、この場面のペールはすでに中年を迎え、奴隷売買など怪しげな事業で荒稼ぎをして、金持ちになっています。

「イングリッドの嘆き」で描かれるのは、若い日のペールの姿。貧しい農家の息子ペールはなんの根拠もなく将来は王様か皇帝になるとうそぶく自信家です。地主の娘イングリッドが結婚式を迎えると、招かれもしないのに屋敷に乗り込んで、花嫁を強奪してしまいます。しかし、ペールは結婚式で出会った娘ソルヴェイグのことを忘れられず、あっさりとイングリッドを放り出してしまうのでした。

「山の魔王の宮殿にて」はスポーツシーンやテレビCMなどでよく使われる人氣曲。イングリッドを捨てたペールは、山奥で出会った女に求婚します。ところが女の正体は魔王（トロールの王）の娘。ペールに「人間をやめて、トロールとして生きよ」と迫ります。慌てて逃げ出すペールと追いかけるトロールたち。迫力満点の音楽です。

「オーゼの死」ではペールの母親オーゼの最期が描かれます。弦楽器が悲痛なメロディをくりかえします。山小屋でペールが見守る中、安らかに旅立つオーゼ。そして、ペールは放浪の旅へと出発します。

「**アニトラの踊り**」はエキゾチックなダンスの音楽。財を成してモロッコにやってきたパールは、裏切りにあい、財産を奪われてしまいます。砂漠をさまようパールは、首長の娘アニトラに出会い、すっかり魅了されてしまうのでした。

「**ソルヴェイグの歌**」はこの劇音楽でもっとも味わい深い名曲でしょう。最初にはパールを拒絶したソルヴェイグでしたが、やがてパールのすべてを受け入れ、一途な愛を貫きます。放浪の旅に出たパールをいつまでも待ち続ける姿が、哀愁を帯びた曲想で表現されます。

フィンランドの民族叙事詩「カレワラ」に基づく名曲

フィンランド最大の作曲家 **ジャン・シベリウス** (1865-1957) も、グリーグと同様に自国の文化や伝統を積極的に作品に取り込みました。とりわけ大きな着想源となったのが国民的叙事詩「カレワラ」。これは古くからフィンランドに伝わる神話や伝説を一大叙事詩として集大成したものです。題の「カレワラ」とは「英雄の国」の意味で、さまざまな人物が登場します。そのひとりがレンミンカイネン。武術にも魔法にも秀でているのですが、身勝手に女たらしの若者です。

あるとき、レンミンカイネンはトゥオネラ（黄泉の国）の川で敵に待ち伏せされ、水蛇に心臓を噛みつかれて命を落とし、その体をバラバラにされてしまいます。息子の死を知った母親は川に行き、バラバラになった体を集めて、神に祈りました。そして創造神の膏薬を塗ると、レンミンカイネンは息を吹き返します。「**レンミンカイネンの帰郷**」では、蘇ったレンミンカイネンが故郷へと向かう様子が力強く描かれます。



『レンミンカイネンの母』(アクセリ・ガッレン=カッレラ作)

追放されたキャンディードが旅の末に見つけたもの

バーンスタインの舞台作品『キャンディード』は、ミュージカルともオペラとも呼べるような作品です。原作はフランスの哲学者ヴォルテールが書いた風刺小説「カンディード」。主人公である若者キャンディードは故郷を追放され、恩師の「現実社会に起きるあらゆる物事はみな最善である」という楽天主義の教えを胸に旅に出ます。そこで体験したのは戦争や大地震、異端審問、盗賊など……。理不尽な現実を目の当たりにして、主人公は楽天主義と決別し、日々の労働にこそ人生の意味があるのだと悟ります。



冒頭に演奏される序曲は晴れやかで、しばしば単独で演奏される人気曲。輝かしくスピード感あふれる冒頭部分に、劇中で使用される主要メロディが続き、躍動感あふれる楽想がくりひろげられます。吹奏楽版で親しんだという方もいらっしゃるでしょう。

スピルバーグ監督のリメイクでも話題に、 ミュージカル作品の金字塔

スティーヴン・スピルバーグ監督がリメイクして話題を呼んだ映画『ウエスト・サイド・ストーリー』(2022年)はご覧になりましたか。映画としての完成度の高さに加えて、バーンスタインの音楽に改めて感銘を受けた方も多いのではないのでしょうか。

『シンフォニック・ダンス』は『ウエスト・サイド物語』のダンスナンバーを中心に集めた演奏会用の組曲です。ミュージカルや映画に親しんでいる方はもちろんのこと、ストーリーを知らずとも純粋に音楽のみで楽しめるように書かれており、バーンスタイン屈指の人気曲となっています。

曲は9つの部分からなり、切れ目なく演奏されます。冒頭の「プロローグ」では有名なフィンガースナップに続いて、サクソフォンによるジャズ調のメロディが登場。ジェッツとシャークスの対立が緊迫感を高めますが、警官の笛で遮られます。

続く「サムホエア」は憧憬に満ちた音楽。安らぎの地を夢見ますが、物語は悲劇へと突き進みます。短い「スケルツォ」を経て、エネルギッシュな「マンボ」へ。体育館でのダンスパーティで熱気が渦巻きます。「チャチャ」と「出会いの場面」では、トニーとマリアが出会い、互いにひとめぼれをします。しかしロマンティックなムードはほんの一瞬のこと。「クール・フーガ」で決闘を前にしたジェッツのメンバーたちは興奮を抑えられません。そして「決闘」で悲劇が起こります。最後の「フィナーレ」は、トニーの遺体をジェッツとシャークスがともに運ぶ弔いの音楽。生き残ったマリアは希望を見いだせるのでしょうか。

いいお・よういち（音楽ジャーナリスト）／著書に『クラシック音楽のトリセツ』（SB新書）、『R40のクラシック』（廣済堂新書）、『マンガで教養 やさしいクラシック』監修（朝日新聞出版）、『クラシックBOOK』（三笠書房）他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。

2022シーズンオープニング!

次の午後のコンサート

お客様の質問募集中!

休日

第93回 休日の午後のコンサート
7月24日(日) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

渋谷

第14回 平日の午後のコンサート
7月27日(水) 14:00開演
Bunkamura オーチャードホール



©Earl Ross



©Yusuke Takamizawa

《夏を踊る》

指揮とお話：三ツ橋敬子
バンドネオン：小松亮太*

シャブリエ／狂詩曲『スペイン』
ガーデ／ジェラシー*
ピアソラ／アディオス・ノニーノ*、
リベルタンゴ*

ビゼー／歌劇『カルメン』第1組曲
ファリャ／バレエ音楽『三角帽子』
第2組曲より「粉屋の踊り」～終曲 ほか

三ツ橋敬子 東京藝術大学及び同大学院を修了。第10回アントニオ・ベドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・スカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。2021年4月、コロナ禍においてNHK交響楽団デビューを飾り、その堅実な解釈力と手腕に対し各方面より称賛を得た。

小松亮太 1973年東京生まれ。国内はもとよりカーネギーホールやアルゼンチン・ブエノスアイレスなどで、タンゴ界における記念碑的な公演を実現している。アルバムはソニーミュージックより20枚以上を制作。「ライブ・イン・TOKYO～2002」が高く評価され、2003年にはアルゼンチン音楽家組合(AADI)とブエノスアイレス市音楽文化管理局から表彰された。2021年3月、著書『タンゴの真実』(旬報社)を刊行。

平日

第26回 平日の午後のコンサート
6月23日(木) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール



《マエストロの旅》

指揮とお話：チョン・ミン
(アソシエイト・コンダクター)

ベルリオーズ／ローマの謝肉祭
ウェーバー／歌劇『魔弾の射手』序曲
ロッシニ／歌劇『ウィリアム・テル』序曲
ストラヴィンスキー／
バレエ組曲『火の鳥』(1945年版)

チョン・ミン ドイツのザールブリュッケン生まれ。幼少時にフランスに渡りコントラバス、ピアノ、ヴァイオリンを学ぶ。その後ソウルに移りソウル国立大学校でヴァイオリンとドイツ文学を専攻。2020年、イタリアのボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団の首席客演指揮者に就任。「午後のコンサート」には2回目の登場。

午後のコンサート 2022シーズン

料金表	S席	A席	B席	C席
1回券(定価)	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
(東京フィルフレンズ)	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※東京フィルフレンズ(年会費無料・随時入会受付中)入会で、定価の10%割引で購入いただけます。

お申込み・お問合せは
東京フィル
チケットサービスまで

03-5353-9522 (平日10時～18時/土日祝休・チケット発売日の土曜日は10時～16時の営業)
<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)

2022シーズン 午後のコンサート。 いよいよ開幕!

2022シーズンの「午後のコンサート」、開幕いたしました。ゆったりとした午後のひとときを、オーケストラの名曲と幅広い世代の音楽家のお話で楽しむ「午後のコンサート」。ひきつづきお楽しみください。



イラスト：ハラダチエ

“大人の渋谷”、Bunkamuraで楽しむ 渋谷の午後のコンサート

Bunkamura オーチャードホール
開演14:00 (開場13:15)

7月27日(水) 第14回

指揮とお話：三ツ橋敬子
バンドネオン：小松亮太



夏を踊る

1回券6月発売

ガーデ／ジェラシー*
ピアノ／アディオス・ノニーノ*、リベルタンゴ*
ビゼー／歌劇『カルメン』第1組曲
ファリャ／バレエ音楽『三角帽子』
第2組曲より「粉屋の踊り」～終曲

ほか

9月2日(金) 第15回

指揮とお話：小林研一郎
ヴァイオリン：荒井里桜



コパケンの名曲アラカルト

1回券6月発売

グリーンカ／歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲*
ドヴォルザーク／スラブ舞曲第10番
スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より
「シャールカ」「モルダウ」

11月24日(木) 第16回

指揮とお話：大井剛史
ソプラノ：森麻季



クリスタル・クラシック

1回券8月発売

ドヴォルザーク／序曲『謝肉祭』
わが母の教えたまいし歌*
山田耕柁／赤とんぼ* この道*
ブッチーニ／歌劇『ラ・ボエーム』より
「私が街を歩けば」*
ドヴォルザーク／交響曲第8番

ほか

ゆったりと、平日午後に“音楽のご褒美”
平日の午後のコンサート

東京オペラシティ コンサートホール
開演14:00 (開場13:15)

6月23日(木) 第26回

指揮とお話:

チョン・ミン

(アソシエイト・コンダクター)



マエストロの旅

1回券発売中

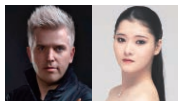
ベルリオーズ／ローマの謝肉祭
ウェーバー／歌劇『魔弾の射手』序曲
ロッシーニ／歌劇『ウィリアム・テル』序曲
ストラヴィンスキー／バレエ組曲『火の鳥』

8月5日(金) 第27回

指揮とお話:

ダン・エッティンガー

ヴァイオリン: 服部百音



10月31日(月) 第28回

指揮とお話: 円光寺雅彦

ピアノ: 清塚信也



千夜一夜物語

1回券6月発売

ワーグナー／楽劇『ニュルンベルクのマイスター
ジンガー』より第1幕への前奏曲
ワックスマン／カルメン・ファンタジー*
リムスキー=コルサコフ／交響組曲『シェラザード』

オーケストラ・クライマックス
～ピアノ協奏曲編～

1回券8月発売

チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番より第1楽章*
ショパン／ピアノ協奏曲第1番より第2楽章*
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番より第3楽章*
ムソルグスキー(ラヴェル編)／組曲『展覧会の絵』(ほか)

愛され続けて23年目。午後コンの“元祖”
休日の午後のコンサート

東京オペラシティ コンサートホール
開演14:00 (開場13:15)

7月24日(日) 第93回

指揮とお話: 三ツ橋敬子

バンドネオン: 小松亮太



夏を踊る

1回券6月発売

ガーデ／ジェラシー*
ピアソラ／アディオス・ノニーノ*、リベルタンゴ*
ビゼー／歌劇『カルメン』第1組曲
ファリャ／バレエ音楽『三角帽子』
第2組曲より『粉屋の踊り』～終曲

(ほか)

9月4日(日) 第94回

指揮とお話: 小林研一郎

ヴァイオリン: 荒井里桜



コパケンの名曲アラカルト

1回券6月発売

グリムカ／歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲*
ドヴォルザーク／スラブ舞曲第10番
スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より
「シャルカ」「モルダウ」

11月27日(日) 第95回

指揮とお話: 大井剛史

ソプラノ: 森麻季



クリスタル・クラシック

1回券8月発売

ドヴォルザーク／序曲『謝肉祭』
わが母の教えたまいし歌*
山田耕作／赤とんぼ* この道*
プッチーニ／歌劇『ラ・ボエーム』より「私が街を歩けば」*
ドヴォルザーク／交響曲第8番

(ほか)

photo: 尾高忠明、小林研一郎©上野隆文・栗田博文©友澤綾乃／チョンミン©Silvia Lelli／三ツ橋敬子©Earl Ross／小松亮太©Yusuke Takamura／ダン・エッティンガー©Juergen Altmann／服部百音©Yui Inagaki／荒井里桜©Toyohiro Matsushima／円光寺雅彦、大井剛史©K. Miura／清塚信也©Kunito Watanabe／森麻季©Yui Hori

お申込み・お問合せは
東京フィル
チケットサービスまで

03-5353-9522 (平日10時～18時／土日祝休・チケット発売日の土曜日は10時～16時の営業)
<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)

News & Information

【提携都市公演】長岡特別演奏会

マエストロ バッティストーニが長岡に帰ってきます！マエストロが以前から取り組んでいる編曲作品から、作曲家リストの壮大なピアノ作品『巡礼の年』を自らの手でオーケストラ作品にアレンジした「ダンテを読んで」、そしてオーケストラ音楽の傑作のひとつマーラー「交響曲第5番」。東京フィル初登場から10年、さらなる進化を聴かせます。

日時 9月18日(日)14:00開演

会場 長岡市立劇場 大ホール

出演 指揮: アンドレア・バッティストーニ(東京フィル首席指揮者)

曲目 リスト(バッティストーニ編)／『巡礼の年』第2年「イタリア」より ダンテを読んで
マーラー／交響曲第5番

料金 S席¥6,000 A席¥4,000(全席指定)

発売日 6月10日(金)9:00～

問合せ (公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715



©上野隆文



昨年の様子

【掲載情報】

小学館『小学一年生』5・6月合併号に東京フィルメンバーが登場



「ピッカピカの一年生」で有名な小学館の学習雑誌『小学一年生』5・6月合併号「オーケストラのひみつたんけん」に東京フィルメンバーが登場しています。只今好評発売中。この春の新一年生も、そして大きなお友達も、ぜひお近くの書店やウェブサイト等でご購入ください。

価格 1690円(税込) 出版社 小学館

『小学一年生』ウェブサイト <https://sho.jp/sho1/>

<撮影／松原敬子 モデル／神尾百音 提供／小学館「小学一年生」>



Photo Reports 2022年3月の演奏会より

3月の定期演奏会は、特別客演指揮者ミハイル・ブレトニョフが2年5か月ぶりに来日を果たし、スメタナの『わが祖国』全曲をお届けしました。2020年3月の定期演奏会で予定されていた本公演、コロナ禍で3度の延期を経て、念願の実現となりました。

写真＝上野隆文 (3/10)／寺司正彦 (3/13)

3月定期演奏会 (3/10、11、13)

指揮：ミハイル・ブレトニョフ
(東京フィル 特別客演指揮者)
コンサートマスター：依田真宣

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』(全曲)

- 第1曲 ヴィシェフラド(高い城)
- 第2曲 モルダウ
- 第3曲 シャールカ
- 第4曲 ボヘミアの森と草原より
- 第5曲 ターボル
- 第6曲 ブラニーク

【オーケストラ・アンコール】

J.S.バッハ(L.ストコフスキー編)／
管弦楽組曲第3番より「エアー」(G線上のアリア)



2019年10月定期演奏会ぶりの共演が叶い、魔法のようなタクトを披露しました



3度目の延期が決まった2021年春、マエストロは「再び日本を訪れ、この作品を東京フィルの皆さんと演奏できる日が早く来る事を心から願っております」とメッセージを寄せました。リハーサルでは笑みがこぼれる場面も



マエストロを挟んで第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンが向かい合う対向配置で演奏。コントラバスは舞台向かって左手、打楽器セクションは右手に、ホルンは倍管で8人が最後列に一列で並びました



『わが祖国』の全曲演奏に取り組むのは今回が初めてというマエストロ。全曲を「ひとつの絵巻物として演奏したい」と語り、曲間はアタッカ（切れ目なく演奏すること）で繋ぎました



アンコールはマエストロの選曲で、リストコフスキー編曲による「G線上のアリア」を演奏。東京オペラシティ公演は、東日本大震災から11年目を迎えた日でもありました



最終日オーチャード定期演奏会でのカーテンコールにて。マエストロとの待望の『わが祖国』全曲演奏は、冬の寒さも残るなか、3公演とも多くのお客様にお越しいただきました。ご来場誠にありがとうございました。次回の登場は6月定期演奏会です。どうぞお楽しみに

2022シーズン 今後の定期演奏会

東京フィルの2022シーズンが1月に開幕し、3月には創立111周年を迎えました。引き続き皆様にかげがえのないひと時をお届けいたします。現在、各公演とも1回券好評発売中です。(残席状況はお問合せ下さい)

皆様のご来場をお待ちしております。

**5
月**

指揮：チョン・ミョンフン
(東京フィル名誉音楽監督)

第968回 5月18日(水)19:00
サントリーホール
第146回 5月20日(金)19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第969回 5月22日(日)15:00
Bunkamuraオーチャードホール

フォーレ／組曲『ペレアスとメリザンド』
ラヴェル／『ダフニスとクロエ』第2組曲
ドビュッシー／交響詩『海』
(管弦楽のための3つの交響的素描)
ラヴェル／
管弦楽のための舞踏詩『ラ・ヴァルス』



◀5月定期の聴きどころはこちらから!

1回券発売中

**6
月**

指揮：ミハイル・プレトニョフ
(東京フィル特別客演指揮者)

第970回 6月8日(水)19:00
サントリーホール
第147回 6月9日(木)19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第971回 6月12日(日)15:00
Bunkamuraオーチャードホール

シCHEDリン／カルメン組曲
〈シCHEDリン生誕90年〉
チャイコフスキー／『白鳥の湖』より
(プレトニョフによる特別編集)

1回券発売中

チケット料金(税込)

1回券	SS席	S席	A席	B席	C席
定価	¥15,000	¥10,000	¥8,500	¥7,000	¥5,500
東京フィルフレンズ (※定価の10%OFF)	-	¥9,000	¥7,650	¥6,300	¥4,950

7
月

指揮：出口大地

(2021年ハチャトゥリアン国際コンクール第1位、
クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位入賞)
ヴァイオリン：木嶋真優*第148回 7月7日(木) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第972回 7月10日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール
第973回 7月12日(火) 19:00
サントリーホールハチャトゥリアン／
バレエ音楽『ガイヌ』より
ハチャトゥリアン／ヴァイオリン協奏曲*
ハチャトゥリアン／交響曲第2番『鐘』

1回券発売中

9
月指揮：アンドレア・バッティストーニ
(東京フィル首席指揮者)第149回 9月15日(木) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第974回 9月16日(金) 19:00
サントリーホール
第975回 9月19日(月・祝) 15:00
Bunkamuraオーチャードホールリスト(バッティストーニ編)／
『巡礼の年』第2年「イタリア」より
ダンテを読んで
マーラー／交響曲第5番

1回券発売中

10
月指揮：チョン・ミョンフン
(東京フィル名誉音楽監督)ファルスタッフ：セバスティアン・カターナ
フォード：須藤慎吾 フェントン：小堀勇介
カイウス：清水徹太郎 バルドルフォ：大槻孝志
ピストーラ：加藤宏隆 アリーチェ：砂川涼子
クイックリー：中島郁子 ナンネッタ：三宅理恵
メグ：向野由美子 新国立劇場合唱団第976回 10月20日(木) 19:00
サントリーホール
第150回 10月21日(金) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール
第977回 10月23日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール

オペラ演奏会形式

ヴェルディ／歌劇『ファルスタッフ』

全3幕 字幕付原語(イタリア語)上演
原作：ウィリアム・シェイクスピア
『ウィンザーの陽気な女房たち』
台本：アッリーゴ・ボーイト

1回券発売中

問合せ 東京フィルチケットサービス

発売日などの詳細は

Tel 03-5353-9522 (平日10時～18時・土日祝休／
発売日の土日祝は10時～16時)
URL www.tpo.or.jp/ (24時間受付・座席選択可)

オーケストラ二都物語： ロンドンと東京 ～ふたつのフィルハーモニー

防衛大学校 国際関係学科教授
等松春夫



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第9回は、国際関係学を専門にされ、英国音楽についてもさまざまな執筆活動をされている等松春夫氏。少年時代からオペラ、交響楽の双方で東京フィルの演奏に親しんできてくださったそうです。

縁あって1990年代、20代後半から30代前半にかけて7年間英国で学んだ。その間、安価な学生券を買える特権を駆使して600以上の演奏会、オペラ、バレエ、演劇に足を運んだ。中でもテムズ河畔のロイヤル・フェスティヴァル・ホール(RFH)でしばしば聴いたのがロンドン・フィルハーモニック管弦楽団(LPO)である。1932年に英国楽壇の重鎮サー・トマス・ビーチャムによって設立され、たちまち英京の音楽的な顔となった。1936年には早くもドイツ公演まで行っている。第二次世界大戦後の苦難の時代を巨匠サー・エイドリアン・ボルトと共に乗りきり、その後ハイティンク、ショルティ、テンシュテット、ヴェルザー＝メストらの名指揮者たちに鍛えられた。LPOがロンドンの他の同僚楽団たちと異なるのはオペラにも強い点である。6月から8月はサセックス州の鄙びた町ルイスに移動し、この地で開かれるグラインドボーン・オペラのピットに入る。

このオペラ祭は1934年、富豪ジョン・クリスティによって始められた。本業はパブリック・スクールの教師という物堅い人物であるが、熱烈なオペラ・ファンであった。ソプラノ歌手オードリー・ミルドメイと結婚してオペラ熱に拍車がかかり、ついには広大



グラインドボーン音楽祭
(2019年7月)クリスティ
邸とオペラハウスの前で



東京フィル ロンドン公演 (1994年
10月)のCDジャケット

な自邸の庭に歌劇場を建ててしまった。所詮金持ちの道楽ですぐにつぶれるであろうとの大方の予想に反し、紆余曲折を経て現在は英国の音楽生活に不可欠のアセットになっている。1960年代以来この歌劇場の音楽面を担ってきたのがLPOである。

1993年の夏は建て替えのためオペラ祭が開けず、その代わりRFHで3演目9回の演奏会形式上演を行った。『フィデリオ』『ペアトリスとベネディクト』『メリー・ウィドー』である。英国の貴顕と紳士淑女が集うグラインドボーン・オペラは東洋から来た一書生には敷居が高かったが、なじみあるRFHには自然に足が向いた。3公演とも堪能したことはいうまでもない。

考えてみれば同様の形式でオペラを広範囲の聴衆に提供していたのが東京フィルの「オペラ・コンチェルタンテ」であった。あのシリーズでオペラの愉しみに目覚めた人は相当な数になったであろう。東京文化会館や新国立劇場のピットに入ることの多い東京フィルだからこそできた企画であった。1979年夏、少年時代の筆者が初めて舞台を観てオペラの素晴らしさに目覚めたのは、若杉弘氏が指揮する東京フィルが東京文化会館のピットに入った二期会『ローエングリン』の公演であった。英国留学時代の1994年秋にはロンドン公演で大野和士氏率いる東京フィルの雄姿に接することができた。オペラと管弦楽、双方に通じた東京フィルは日本では稀有な存在なのである。

等松春夫(とうまつ・はるお)

1962年米国バサデナ市生。防衛大学校国際関係学科教授。専攻は政治外交史・比較戦争史。オックスフォード大学博士(政治学・国際関係論)。主な著訳書に『日本帝国と委任統治』『なぜ国々は戦争をするのか』*A Gathering Darkness: The Coming of the War to Asia and the Pacific* など。1991~97年の留学中に英国音楽の魅力に目覚める。エルガー《エニグマ変奏曲》、《南国にて》、ホルスト《惑星》等のスコア解説を執筆。英国エルガー協会とホルスト協会の会員。

木々が芽吹きはじめる新緑の候、皆様におかれましては、
ますますご健勝のことと存じます。
今月は、マエストロと楽団員が奏でる、
色彩豊かな演奏を心ゆくまでお楽しみください。
引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。
ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、
改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

法人会員

賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)IIIH 代表取締役社長 井手 博	(株)インターテキスト 代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦
(株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 芝田 浩二	カシオ計算機(株) 代表取締役 社長 CEO 樫尾 和宏
(医)相澤内科医院 理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 松本 浩司	キヤノン(株) 代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫
アイ・システム(株) 代表取締役会長 兼 社長 松崎 務	大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎	(株)グリーンハウス 代表取締役社長 田沼 千秋
(株)アシックス 取締役会長 尾山 基	(株)オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄	コスモエネルギーホールディングス(株) 代表取締役社長 社長執行役員 桐山 浩

サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 新浪 剛史

信金中央金庫
理事長 柴田 弘之

新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 加賀美 猛

(株)J.Y.PLANNING
代表取締役 遅澤 准

(株)滋慶
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)
代表取締役会長 小澤 勉

ソニーグループ(株)
代表執行役 会長 兼 社長 CEO 吉田 憲一郎

ソニー生命保険(株)
代表取締役社長 萩本 友男

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長 澤田 太郎

都築学園グループ
総長 都築 仁子

東急(株)
取締役社長 高橋 和夫

東京オペラシティビル(株)
代表取締役社長 三和 千之

東レ(株)
代表取締役社長 日覺 昭廣

トップバン・フォームズ(株)
代表取締役社長 添田 秀樹

トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 豊田 章男

DOWAホールディングス(株)
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ
代表取締役会長 山本 利行

日本ライフライン(株)
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)
代表取締役会長 CEO 北澤 通宏

(株)不二家
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行
頭取CEO 高島 誠

三菱地所(株)
執行役社長 吉田 淳一

三菱倉庫(株)
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器
代表取締役社長 山野 政彦

ユニオンツール(株)
代表取締役会長 片山 貴雄

(医)ユベンシア
理事長 今西 宏明

楽天グループ(株)
代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

(株)リソー教育
取締役会長 岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス
代表取締役社長 畝森 達朗

(医)エレル たにぐちファミリークリニック
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院
理事長 加藤 徹

(医)だて内科クリニック
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺
代表役員 若林 隆壽

(一社)凸版印刷三幸会
代表理事 金子 真吾

(株)トレミール
代表取締役 茶谷 幸司

(株)日税ビジネスサービス
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

富士通(株)
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱電機(株)
執行役社長 漆間 啓

ご支援の御礼とお願い

コロナ禍において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は今も社会に大きな影響を及ぼしています。東京フィルもまた、深刻な打撃を受けています。2020年2月下旬から数か月にわたり、出演する演奏会のすべてが中止・延期となりました。その後も感染状況により公演の中止や延期、チケットの販売停止を余儀なくされております。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんどを占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたします。指揮者と楽団員、スタッフはPCR検査や抗原検査を何度も受けて公演に臨んでおり、これらの検査に掛かる費用もまた楽団の財政を圧迫しています。

今後も、当団は、芸術がもたらす感動がどんな時代にも社会を豊かにするとの信念のもと、お客様ならびに関係者の安全と安心を最優先に、状況を注視しながら活動を続けてまいります。皆様のご寄附が大きな力となります。皆様におかれましては、改めて楽団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、いっそうのご支援・ご助力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただきましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（26ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行（郵便振替）	00120-2-30370	公益財団法人
三井住友銀行・ 東京公務部（096）	普通預金 3003239	東京フィルハーモニー 交響楽団

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書はこちらからも取得いただけます。

https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf



【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel 03-5353-9521（土日祝日を除く10時～18時）

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

文化庁「文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業」

文化庁が主催する本事業は、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行い、さらに2019年度からは、これに加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。



小学校体育館でのオーケストラ本公演

令和4年度からは、「文化芸術による子供育成推進事業」と事業名が変更となり、東京フィルは中国地区の担当として新たに長期採択(2022～2024年度)を受けました。今年度は5月から12月にかけて、小中学校14校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催します。

留学生の演奏会ご招待… 留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。



定期演奏会に来場の「JICA東京研修生の皆様とチョン・ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文

東京フィル 賛助会 会員募集中

2022年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立111年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、東京フィルは社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会（法人／パートナー（個人））会員の種別

種別		年会費1口
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラプソディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリュード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「主催者カウンター」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部（担当：星野^{かのまた}・鹿又）

電話：03-5353-9521（平日10時～18時） Eメール：partner@tpo.or.jp

演奏会場の感染対策について

演奏会の開催にあたり、リハーサルから本番に至るまで、お客様、出演者、スタッフ等、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに従い、舞台上・舞台裏・楽屋・客席ロビーなどにおける対策を講じております。引き続きの感染症予防のご協力をお願い申し上げます。

写真＝三浦興一／上野隆文

客席・ロビーの対策について



入場前の手指消毒、常時マスク着用、間をあけて整列をお願いいたします



入場の際に、サーモグラフィカメラ等での検温を行っています



ホール入退場時の密集を避けるため、時間差による入退場のご協力をお願いいたします

ご来場者様の中から感染者が発生した場合には、保健所等の公的機関と連携の上、ご購入の際に取得した購入者情報を緊急連絡先として使用させていただく場合がございます。チケットご購入者をご来場者が異なり、購入者情報を緊急連絡先として望まない場合は、必ずチケット半券裏面の余白にご来場者様のお名前と緊急連絡先(電話番号など)のご記入をお願いいたします。



Face Masks
Required



Physical
Distancing



Sanitizing
Stations



Frequent Cleaning
and Disinfecting



Improved Indoor
Ventilation

会場では常時マスクの着用をお願いいたします。

ロビーや客席内での会話はお控えください。

ロビー等ではお客様同士の間隔を十分におとりください。

頻回の手指消毒をお願いいたします。

場内はスタッフが消毒・清拭を行っております。

客席内は十分な換気を行っております。

時差入退場にご協力ください。

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督

Honorary Music Director

チョン・ヨンフン

Myung-Whun Chung

首席指揮者

Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ

Andrea Battistoni

桂冠指揮者

Conductor Laureate

尾高 忠明

Tadaaki Otaka

大野 和士

Kazushi Ono

ダン・エッティンガー

Dan Ettinger

特別客演指揮者

Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ

Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター

Associate Conductor

チョン・ミン

Min Chung

永久名誉指揮者

Permanent Honorary Conductor

山田 一雄

Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者

Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄

Norio Ohga

コンサートマスター

Concertmasters

近藤 薫

Kaoru Kondo

三浦 章宏

Akihiro Miura

依田 真宜

Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン

First Violins

小池 彩織☆

Saori Koike

榊原 菜若☆

Namo Sakakibara

坪井 夏美☆

Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆

Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之

Yoshiyuki Asami

浦田 絵里

Eri Urata

景澤 恵子

Keiko Kagesawa

加藤 光

Hikaru Kato

巖築 朋美

Tomomi Ganchiku

坂口 正明

Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久

Saku Suzuki

高田 あきの

Akino Takada

田中 秀子

Hideko Tanaka

栃本 三津子

Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀

Miki Nakazawa

中丸 洋子

Hiroko Nakamaru

廣澤 育美

Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子

Satoko Hirota

藤瀬 実沙子

Misako Fujise

松田 朋子

Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン

Second Violins

戸上 真里◎

Mari Togami

藤村 政芳◎

Masayoshi Fujimura

水島 路◎

Michi Mizutori

宮川 正雪◎

Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆

Aiko Kojima

高瀬 真由子☆

Mayuko Takase

石原 千草

Chigusa Ishihara

出原 麻智子

Machiko Idehara

太田 慶

Kei Ota

葛西 理恵

Rie Kasai

佐藤 実江子

Mieko Sato

二宮 祐子

Yuko Ninomiya

本堂 祐香

Yuuka Hondo

山代 裕子

Yuko Yamashiro

吉田 智子

Tomoko Yoshida

吉永 安希子

Akiko Yoshinaga

若井 須和子

Suwako Wakai

渡邊 みな子

Minako Watanabe

ヴァイオラ

Violas

須田 祥子◎

Sachiko Suda

須藤 三千代◎

Michio Suto

高平 純◎

Jun Takahira

加藤 大輔○

Daisuke Kato

伊藤 千絵

Chie Ito

岡保 文子

Ayako Okayasu

曾和 万里子

Mariko Sowa

高橋 映子

Eiko Takahashi

手塚 貴子

Takako Tezuka

中嶋 圭輔

Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子

Tazuko Hirumi

古野 敦子

Atsuko Furuno

村上 直子

Naoko Murakami

森田 正治

Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	五箇 正明◎ Masaaki Goka	梶 彩乃 Ayano Kaji
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	小笠原 茅乃◎ Kayano Ogasawara	佐竹 正史◎ Masashi Satake	磯部 保彦 Yasuhiko Isobe	辻 姫子◎ Himeko Tsuji	
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	遠藤 柊一郎 Shuichiro Endo	杉本 真木 Maki Sugimoto	大東 周 Shu Ohigashi	石川 浩 Hiroschi Ishikawa	ライブラリアン Librarians
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	木村 俊介 Shunsuke Kimura	平田 慎 Shin Hirata	武田 基樹 Motoki Takeda
広田 勇樹☆ Yuki Hirota	小栗 亮太 Ryota Oguri		田場 英子 Eiko Taba	山内 正博 Masahiro Yamauchi	ステージマネージャー Stage Managers
石川 剛 Go Ishikawa	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	クラリネット Clarinets	塚田 聡 Satoshi Tsukada	吉江 賢太郎 Kentaro Yoshie	
大内 麻央 Mao Ouchi	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	チョ・スンホ◎ Sungcho Cho	豊田 万紀 Maki Toyoda		稲岡 宏司 Hiroschi Inaoka
太田 徹 Tetsu Ota	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	山内 研自 Kenji Yamanouchi	テューバ Tubas	大田 淳志 Atsushi Ota
菊池 武英 Takehide Kikuchi	中村 元優 Motomasa Nakamura	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto	大塚 哲也 Tetsuya Otsuka	古谷 寛 Hiroschi Furuya
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki		黒尾 文恵 Fumie Kuroo		荻野 晋 Shin Ogino	
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa	フルート Flutes	林 直樹 Naoki Hayashi	トランペット Trumpets		
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	神田 勇哉◎ Yuya Kanda		川田 修一◎ Shuichi Kawata	ティンパニ& パーカッション Timpani & Percussion	
	斉藤 和志◎ Kazushi Saito	ファゴット Bassoons	野田 亮◎ Ryo Noda	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	木村 達志 Tatsushi Kimura	
	下払 桐子 Kiriko Shimobara	井村 裕美 Hiromi Imura	前田 寛人 Hirohito Maeda	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
		桔川 由美 Yumi Kikkawa		縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
		森 純一 Junichi Mori		船迫 優子 Yuko Funasako	
				古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フォアシュピラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バティストニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2022, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 111th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>    



©上野隆文

役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		南 直哉
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	大和田 皓	河野 啓子	清水 真佐子	長池 陽次郎	古野 淳
池田 敏美	岡部 純	近藤 勉	瀬尾 勝保	長岡 慎	細川 克己
糸井 正博	小樽 敦子	今野 芳雄	高岩 紀子	長倉 穰司	細洞 寛
今井 彰	小山 智子	齊藤 匠	高野 和彦	新田 清枝	本田 詩子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	松澤 久美子
岩崎 龍彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 良	二宮 純	湊 貞男
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	野仲 啓之助	宮原 真弓
上野 眞行	金崎 真由美	桜木 弘子	田中 千枝	畑中 和子	山屋 房子
生方 正好	川人 洋二	笹 翠	田村 武雄	玻名城 昌子	吉田 啓義
大兼久 輝宴	木村 友博	佐々木 等	津田 好美	福村 忠雄	米倉 浩喜
大澤 昌生	黒川 正三	佐野 恭一	戸坂 恭毅	藤原 勲	脇屋 俊介

〈発行日〉2022(令和4)年5月15日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとまき

〈印刷〉歐文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



TOKYO PHILHARMONIC

Afternoon Concerts 2022 season